

# ◆◆◆ 桶川北本水道企業団 水道事業経営戦略【概要版】 ◆◆◆

## 1 経営戦略の策定の目的

- 桶川北本水道企業団の給水人口は、全国的な傾向と同様、今後減少傾向を示すことが予測されており、給水収益が減収することが想定される。施設や管路の老朽化が進んでおり、今後ますます更新需要が増加することが見込まれる。また、令和7年度に石戸浄水場を廃止する計画であり、石戸浄水場廃止に向けた具体的な浄配水場の更新計画が必要となる。
- 将来の浄配水場の更新計画を踏まえた「投資試算」、将来のサービス需要の変化等も踏まえた収支見通しである「財源試算」を行い、収支均衡の図った中長期的な経営の基本計画として位置づける。



## 2 計画期間 令和3（2021）年度～令和12（2030）年度

## 3 経営の基本方針

水道事業ビジョン

**<桶川北本水道企業団の基本方針>**  
～市民から信頼されつづける水道～

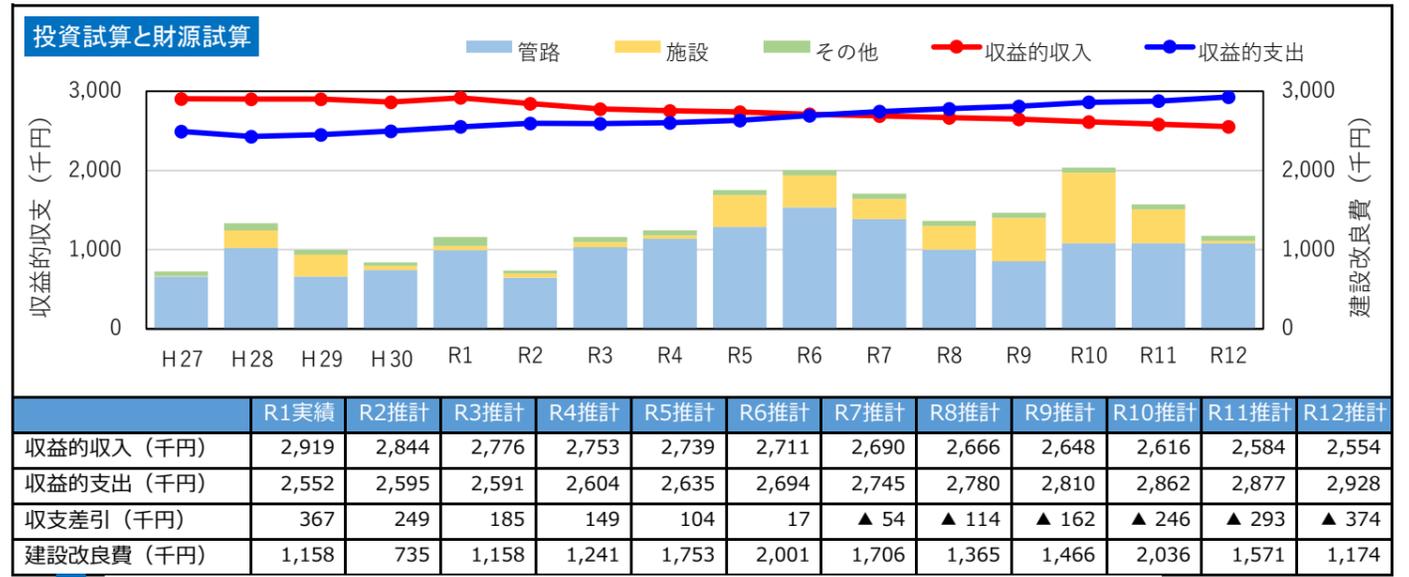
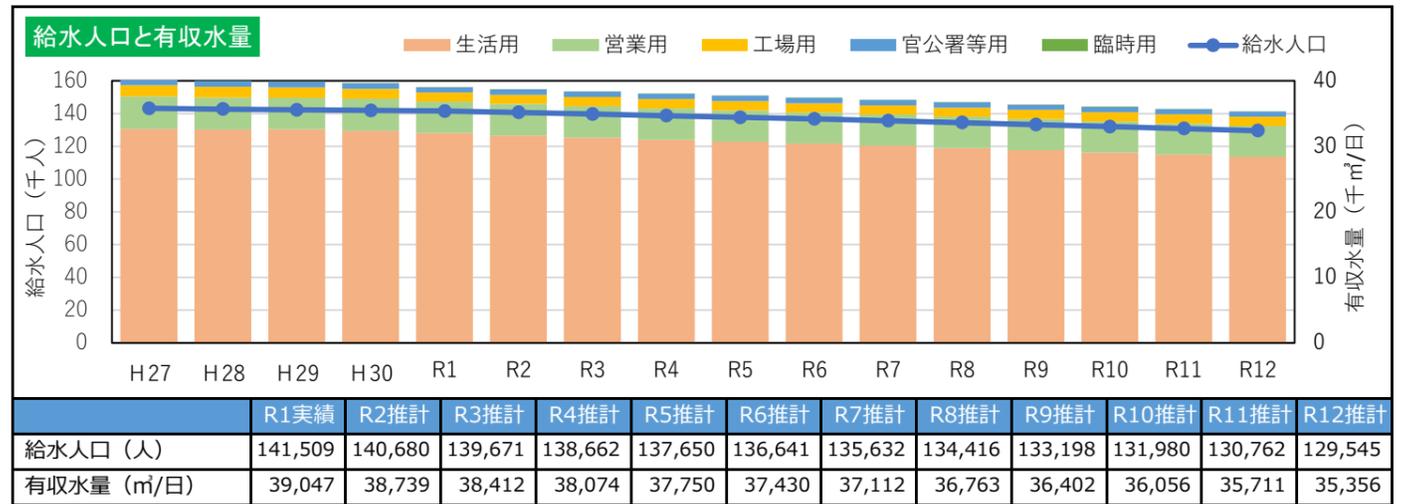
- 常に信頼を確保するため
- 非常時にも信頼を確保するため
- 事業面・技術面で信頼を維持するため

1. 安全供給できる水道
2. 非常時にも強靱な水道
3. 効率的な事業運営と持続できる水道

- 経営戦略は、水道事業ビジョンで掲げた基本方針の実現に向け、計画期間内に取り組むべき具体的施策や財政収支の見通しを明らかにしたもの。
- 施策の実施に当たっては、社会情勢等の環境の変化を踏まえて、進捗状況の見直しを行い、PDCAサイクルを活用し、施策の進捗状況と併せて事業の成果や効果を把握し、計画の見直しを図る。

## 4 投資・財政計画（収支計画）

- <投資試算>
- 施設の更新計画は、令和7年度に石戸浄水場を廃止することを踏まえ、リスク面での配慮、投資額の平準化を図るため、複数の浄配水場で工事期間が重複しないように、また、更新期間中も安定した配水体制を確保するように策定した。
  - 管路の更新計画は、更新周期をベース投資額を試算し、他事業計画に伴う管理整備路線を考慮した。
- <財源試算>
- 現行料金では、令和7年度以降は純損失が発生する見込みである。
- <収支均衡>
- 令和8年度から令和12年度まで黒字を維持する水準で、管路更新事業費を調整した。
  - 令和8年度から10%の料金値上げで設定した。
  - 計画期間内において、健全経営を維持できる水準となった。
  - 水道料金の見直しについては、県営水道の受水費の改定やその他経営環境の変化を踏まえ、公正妥当な料金となるように適正な水道料金のあり方に検討する。



収支均衡を図るため、R8年度に10%の料金値上げ、管路の更新事業費を調整

